



技術開発テーマ名

[月測位システム技術](#)

実施機関名（代表機関）

株式会社アークエッジ・スペース

研究代表者名

渋谷 季裕

技術開発課題の名称

月測位システム実証衛星及び主要サブシステムの開発

技術開発課題の概要

近年、月近傍や月表面における活動の構想や検討が活発に進められており、月測位インフラの整備は運用性の向上に不可欠である。米欧では国際的に協調し月測位インフラや規格を検討・構築するLunaNet構想が進められている。国内では、LunaNet構想に加わることを想定したLunar Navigation Satellite System (LNSS)という月測位システムに関する検討が行われてきた。月測位システムの実現のためには、月周回衛星の高精度な軌道時刻決定が必要であるが、GNSSからの漏れ電波を受信し、得られる観測量をもとにオンボードで実施することで地上局リソースや運用コストを抑えることができる。本技術開発課題では、この軌道時刻決定手法を実現するための航法システムや、高安定の時刻系システムなどの主要サブシステムの開発と統合を実施する。また、超小型衛星技術を利用して月測位システムの実証衛星を開発することで、開発費用の低減や開発期間の短縮を実現し、国際協調を見据えた効率的な実証を目指す。

座長

(担当PO)

白坂 成功

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科委員長 教授

委員

石上 玄也

慶應義塾大学 理工学部機械工学科 准教授

委員

大貫 美鈴

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 次世代成長投資本部次世代成長投資部
宇宙投資チーム エグゼクティブヴァイスプレジデント**委員**

門脇 直人

国立研究開発法人情報通信研究機構 主席研究員

委員

竝木 則行

自然科学研究機構 国立天文台 教授

委員

山浦 雄一

山浦技術経営士事務所 代表

敬称略、座長を除き、委員は五十音順

利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない